

秋保大滝植物園だより No.13 春号

園内に咲く四季折々の花や色とりどりの実、季節を告げる生きものなどの自然の情報を、季節をおってお届けします。
今回は春です。尚、バックナンバーは(公財)仙台市公園緑地協会ホームページ「杜のひろば」よりダウンロードできます。



イヌコリヤナギ【犬行李柳】
花：3月下旬～4月中旬 落葉低木。雌雄異株。雌花のほうが地味な色合い。



マルバアオダモ【丸葉青だも】
花：5月中旬～下旬 雌雄異株。葉の縁はほぼ全縁で、鋸歯は不明瞭。白い花を多数つけた姿は圧巻。



ルイウボタン【類葉牡丹】
花：4月下旬～5月中旬 花びらに見えるのは萼片で、花びらよりも目立つ。ボタンの葉に似る



スマレ【 堇 】 花：5月
園内の道端や、コンクリート、瓦屋根の隙間からでも花を咲かせる丈夫なスマレ。花色は濃紫。



カマツカ【鎌柄】(ウシコロシ)
花：5月中旬～6月上旬 葉の形や毛の状態などに変異が多い。



レンゲツツジ【蓮華躑躅】
花：5月中旬～下旬 湿原や草地などを好む。葉が出た後、花を咲かせる。有毒植物。



ヒトリシズカ【一人静】
花：4月中旬～5月上旬
ブラシ状の花をつける。群れて生えることが多い。



ヒナギク【雛菊】(デージー)
花：4月中旬～5月 日本では1年草の園芸品。陽だまりに咲いた姿が可愛い。



キリシマ【霧島】(クルメツツジ)
花：5月中旬～下旬 昔から栽培されていて多くの園芸品がある。花は小ぶり。



ホオノギ【朴の木】
花：4月下旬～5月上旬 樹高・葉・花・実・すべてが大型。枝先に葉が集まり、その真ん中に径20センチほどの大きな花を咲かせる。



ケキツネノボタン【毛狐の牡丹】
花：5月～7月 茎に毛が多い。径1センチくらい黄色い花を咲かせる。有毒。



フランスギク 花：5月中旬～6月上旬 ヨーロッパ原産。日本のあちこちに帰化している。マーガレットと間違えられることが多い。



クロフネツツジ【黒船躑躅】
花：5月上旬～下旬 アジア東北部原産。淡紅色の大輪の花を咲かせ、「ツツジの女王」と呼ばれる。



ツバキ【椿】 花：4月中旬～5月中旬 人為的な交配などによりできた園芸品。朱赤色に、白色が入る2色咲き。洋種椿のひとつ。



エゾエンゴサク【蝦夷延胡索】
花：4月上旬～中旬 小さな野草なので見逃すことが多い。主の花色は青から紫系だが、園内のものは白に近い。



キバナカタクリ【黄花片栗】
花：4月下旬～5月中旬 園芸種 茎の先端に1～3個ほどの濃黄色の花が下向きに咲く。カタクリより、開花が遅い。



ハナイカダ【花筏】
花：5月中旬～下旬 写真は雌花 葉の上に花が咲くのが特徴。実は黒く熟す。雌雄異株。



カタバミ【片喰】 花：4月～7月 クローバーに似たハート型の葉を3枚つける。花は可愛いが、庭などに蔓延するので雑草として嫌われることが多い。



クマガイソウ【銀竜草】
花：5月上旬～下旬 扇形の葉が2枚、向かい合ってつく。その間から、袋状の大きな花を咲かせる。



ベニシジミ【紅蛺蝶】
繁殖時期：春型と夏型がある 草原などで見られる小さな赤褐色のチョウ。冬は幼虫で越冬する。